

施設のLCC低減と環境経営に貢献します

LCCと環境負荷で考える空調設備

Clean & Energy-saving technology

新築・リニューアルに



施設経営のライフサイクルコスト低減のために

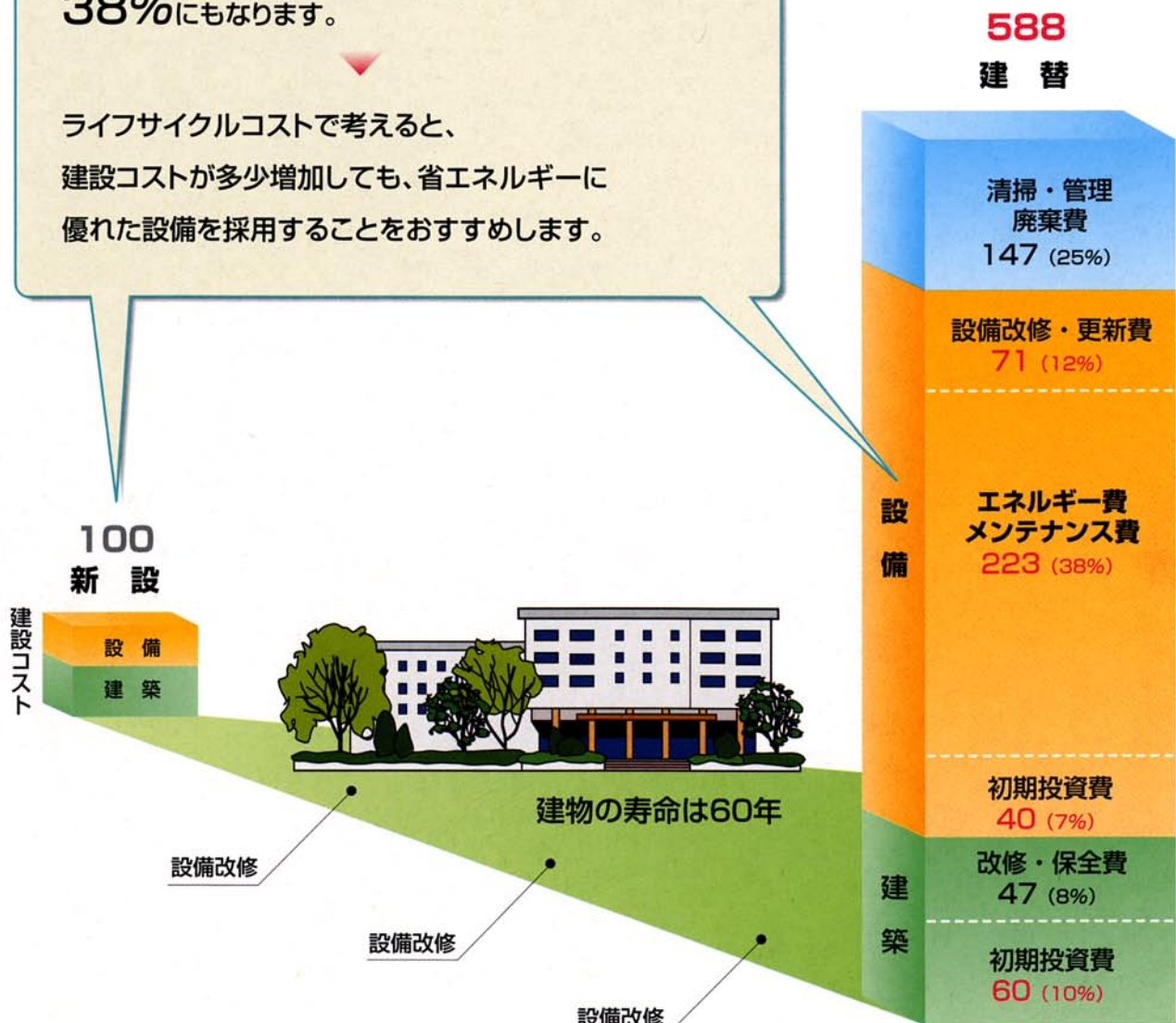
ライフサイクルコストで考える設備の重要性

●60年間のライフサイクルコストの内訳

新設から建替までのライフサイクルコストの中で
初期投資金額は、全体の**17%** (建築10%+設備7%)ですが、

設備のランニングコスト(エネルギー費、メンテナンス費)は
38%にもなります。

ライフサイクルコストで考えると、
建設コストが多少増加しても、省エネルギーに
優れた設備を採用することをおすすめします。



※出典：社団法人 日本空調衛生工事業協会「最適な発注方式のご提案」

ヤマトは全蓄熱空冷ヒートポンプ方式をご提案いたします

●ライフサイクルコスト シミュレーション

全蓄熱方式は15年間使用すると…
ライフサイクルコストが、

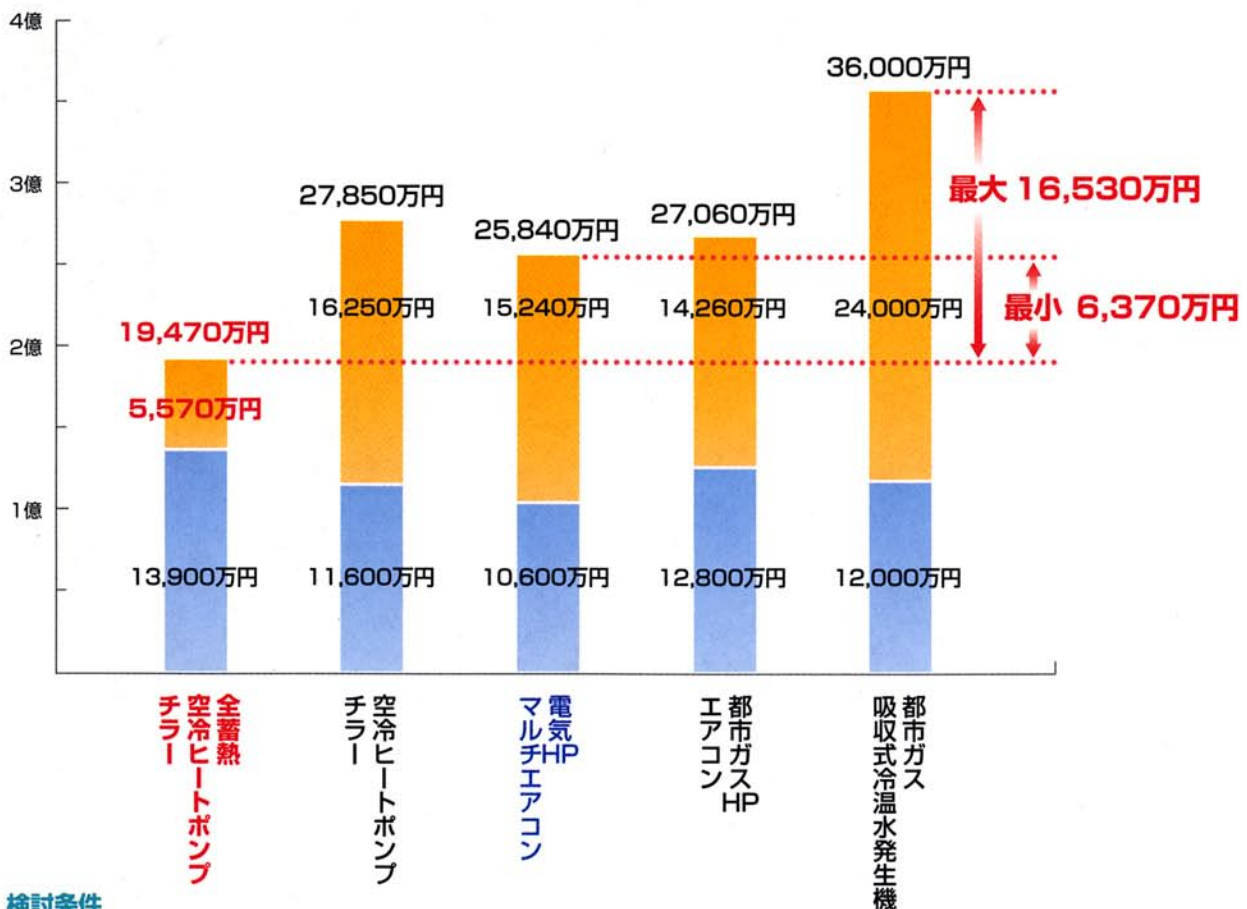


こんなに
お得です！

コスト シミュレーションは、各空調方式毎の標準的な価格です。
実際の価格はコンペにてご採用ください。

主な空調方式による15年間のライフサイクルコスト比較

■ ランニングコスト (エネルギー費、メンテナンス費)
■ イニシャルコスト

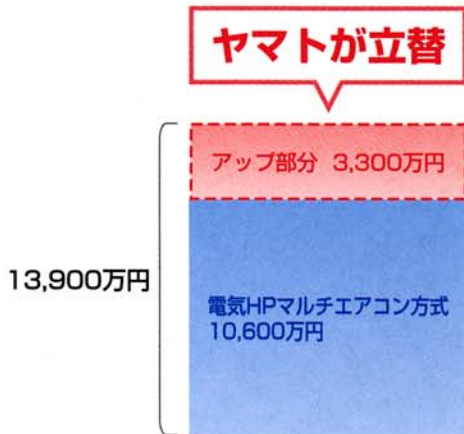


検討条件

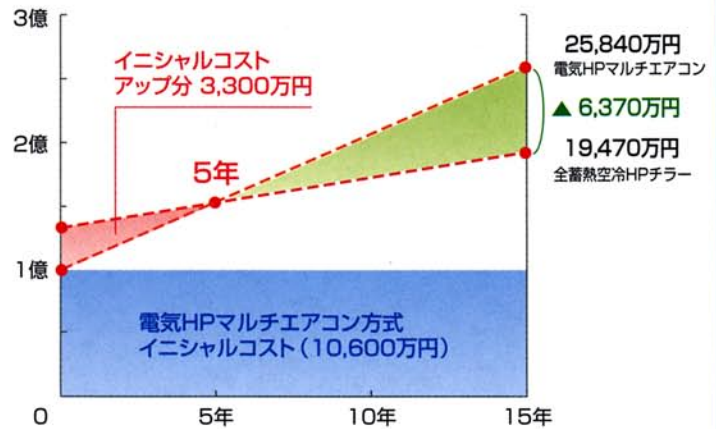
■ 建物用途：(特養)老人施設 ■ 空調面積：4,000m² ■ 延床面積：5,000m² ■ 空調時間：0:00~24:00
※施設の規模により経済効果は異なります。

●イニシャルコストのアップ部分の資金調達はご心配ありません。

全蓄熱空冷HPチラー方式を採用した場合のイニシャルコスト



<投資回収年数のシミュレーション>



※金額についてはコンベにより決定しますのでご参考例です。

●当社システムを採用していただきますと5年間性能保証いたします。

性能保証契約

1. 標準モデル

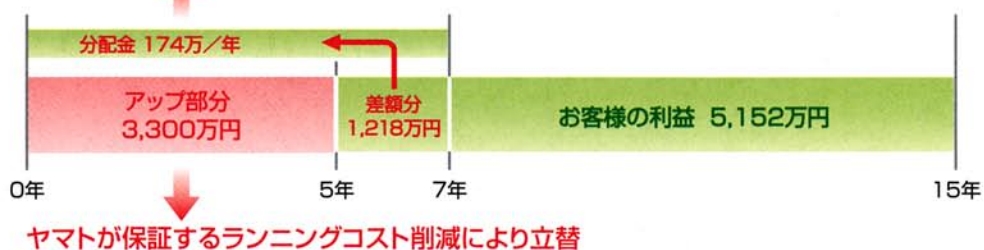
■ ランニングコスト削減額 9,670万円/15年(644万円/年)



2. 分配型モデル

■ ランニングコスト削減額 9,670万円/15年(644万円/年)

初年度より差額分をお客さまへ毎年分配



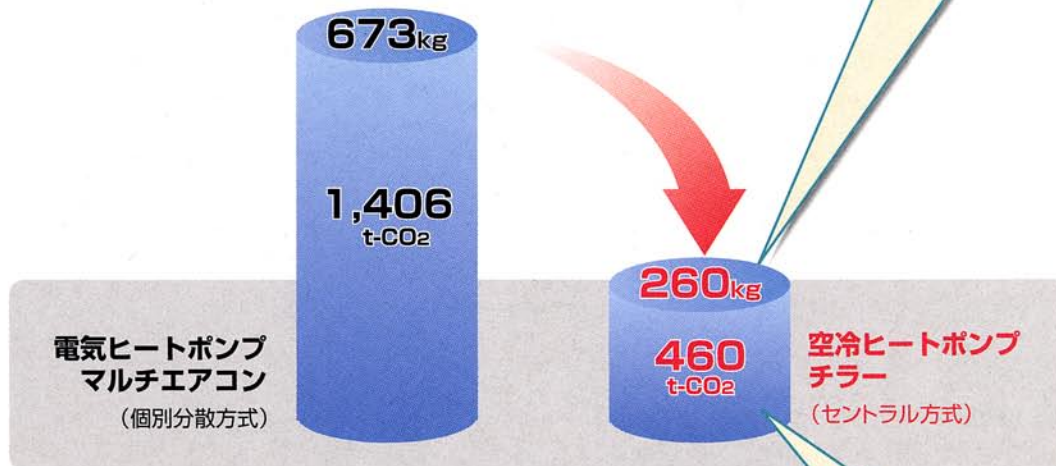
※金額については、おおよその目安でありご参考例です。

環境にやさしい建物の実現のために

地球温暖化防止対策の強い味方は、セントラル空調方式

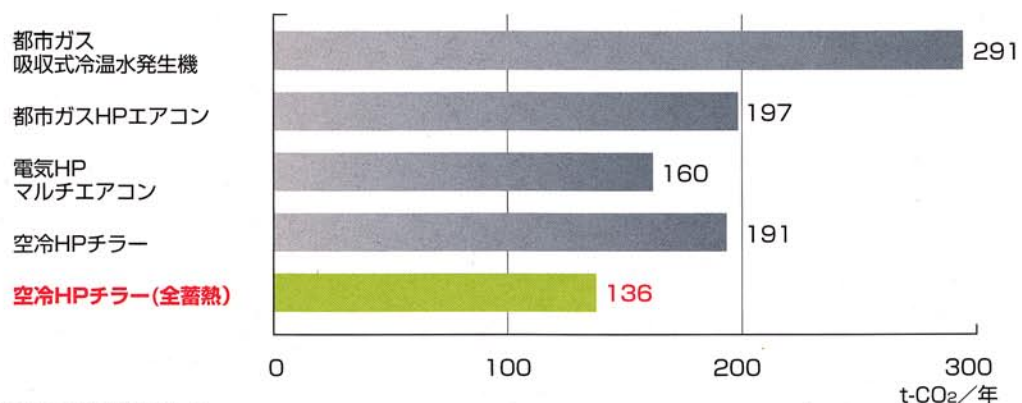
●15年間の冷媒(フロン)使用量の比較

空冷ヒートポンプ チラー方式の採用で、
たとえば… 建物面積 5,000m²では
冷媒(フロン)使用量が $\frac{1}{2}$ 以下に



CO₂に換算すると、**946トン**もの削減になります。

●エネルギー使用による年間CO₂排出量の比較



※上記試算はP2の検討条件による。



株式会社 **ヤマト**



品質保証の国際標準規格
ISO9001 認証取得
Certificate Number:32621



環境マネジメントの国際標準規格
ISO14001 認証取得
Certificate Number:34835



この印刷物は環境にやさしい
印刷剤を使用しています。



この印刷物は環境にやさしい
大豆インクを使用しています。



環境配慮率70%
再生紙を使用しています。

群馬県前橋市古市町118 〒371-0844 TEL.027-290-1800(代) FAX.027-290-1896

支店/東京、埼玉、栃木、横浜、千葉、高崎 営業所/軽井沢、伊勢崎、茨城、太田、湘南、東松山、新潟、栃木市、長野、渋川、川口、多摩、東北、滋賀
附属施設/大和環境技術研究所、大和分析センター、加工センター、教育センター ヤマトホームページ www.yamato-se.co.jp/

2010/11/500